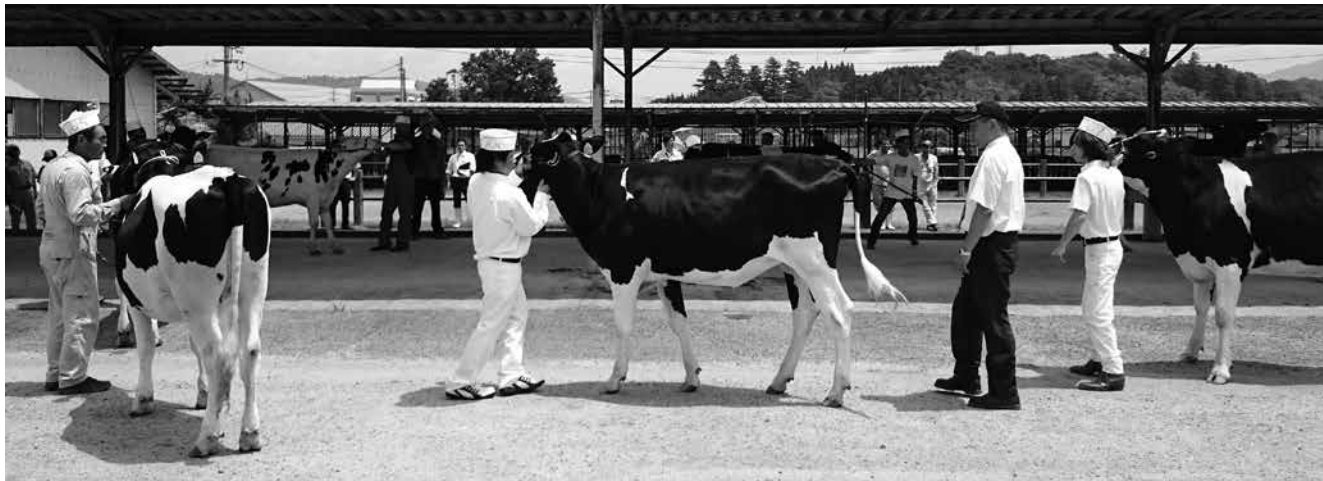


第9回庄原地区畜産共進会

(7月23日、庄原家畜市場)

「第8回庄原農協畜産共進会」出品牛16頭を選定



第9回庄原地区畜産共進会が開催され、旧庄原市から第1区8頭、第2区8頭が出品された。第1区の首席に藤本雄紀氏(庄原市大久保町)の出品牛、第2区の首席に藤本卓氏(庄原市大久保町)の出品牛が選ばれた。

審査員は、齋藤次長(家畜改良事業団岡山種雄牛センター)が務められた。

8月26日開催の第8回庄原農協畜産共進会には、第1区8頭と第2区8頭の合計16頭の出品が決定した。

日々徒然

かがやき



▼広酪は平成二十六年年度牛乳定着化事業として、「MILK●JAPAN inひろしま」を企画し、このたびの理事会では今後、関係機関、団体を集めた実行委員会を立ち上げ、具体的内容を協議することを決定しました。

▼昨今の広島県牛乳普及協会が行う牛乳・普及活動等では、任意団体「広酪ホルスタイン改良同志会」や「広酪メンバーズクラブ」、「ひろらく女性グループ連絡協議会」、同協議会姫の部「ときめき隊」等とも連携した中で、イベントや普及活動を行っており、こうした機会から「各団体が連携した中で普及活動が出来ないか」といった組合員の積極的な普及活動への機運が高まっています。

▼今回の「MILK●JAPAN inひろしま」は「より酪農現場に近い場所で、酪農家である人や乳用牛とのふれあい、現場体験を通じて、酪農業への理解を深め、牛乳・乳製品の消費拡大につなげたい」との強い願いのもとに「五感で満喫！酪農体験ツアー」と題して、酪農家の牧場を借用しての企画案としています。

▼近年の消費拡大・酪農理解醸成活動の拠点は、大消費地の商業施設で開催してきましたが、今

回は、酪農現場に消費者を招く考えであり、大掛かりなものになりそうです。

▼過去には、広酪メンバーズクラブが毎年夏に庄原市七塚町の畜産技術センターで消費者交流イベント「ミルクフェスティバル」を開催していましたが、防疫上の問題、クラブ会員の参加者の減少等から、一応の成果があったとして終了しました。

▼酪農教育ファームを展開する牧場等では、酪農現場での食と命の学びを支援する活動を展開されています。近年では、平成二十二年四月に発生した口蹄疫の発生等から、イベント等による消費者交流活動においては、「不特定多数の消費者と乳用牛等が接触する可能性がある牧場やイベント牧場での酪農体験や交流活動は当面控えるべき」との指導を受けており、一般の韓国での口蹄疫発生もあって、防疫体制も懸念するところです。また、イベントは「天気次第」であり、早くも当日の天気が気になります。

▼今後、関係団体・関係機関との協議の場をもって、企画内容を吟味していくこととなりますが、皆さんにもご協力をお願いします。その際には宜しくお願います。

(T.Y)

美湯
仙人